

事業の実施状況等について

企画提案(事業計画書)等について(受託者等の自己評価)

【此花区】(受託者:一般財団法人大阪市コミュニティ協会)

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析(年度当初)

項目	地域活動協議会の状況についての分析(受託者等記入)
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析 ・運営委員会は報告や連絡など形式的な会議から団体間のつながりを深め地域課題や活動の取り組みに対する話し合いが行なわれるようになっている地域と、話し合いのプロセスで意見の把握、認識が共有されないまま終わってしまい取組が進まない地域がある。 ・地域での活動は担い手が交代しても取組の目的を引き継げる状態が好ましいが、いくつかの地域では資料の不足、口頭での説明などで地域の現状を把握するまでに苦慮される場合が多い。 ・地域事業はほとんどが、自主財源を寄付や町会費・売上で賄っているが収入源のない事業もあり苦慮している。
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」についての分析 ・ふれあい喫茶や子育てサロンなどの福祉事業は、開催場所や内容によって参加者が少ない地域もあるが、積極的に改善を進めようとしている。 ・地域活動の人材は地活協により交流も増え、発掘・育成が進んでいるが、会計事務や会議を運営する総務部の業務が行政から求められるレベルに対応できなくなっている地域もある。 ・校区がまたがっている地活協は防災やまつりなど近隣地域との連携・協働を進めていこうとはしているが、コーディネートする人材が不足しており支援が必要である。 ・世代間交流事業などイベントはマンネリ化が課題となっているが、企業や他団体との協働を進め拡充していく地域と改善が難しい地域がある。
	(3)「Ⅲ 組織運営」についての分析 ・各地域の地域活動協議会では、設立して5年目を迎え議決機関の運営も一定の流れができあがり、適正に行われている。 ・事業計画・報告は回覧や掲示により周知ができています。 ・会計事務はほとんどの事業が、まちセンの会計ソフトを活用しており、会計の透明化が図られている。 ・広報活動は、各地域ともイベントの周知は積極的に行っており、広報誌作成は学校関係団体と連携して作成している地域もあるが、広報委員の設置も、担い手がおらず支援が必要な地域もある。また、SNSを活用した広報は、担い手不足や前向きでない意見もあり2地域の実施にとどまっているため、まちセンが情報発信を支援している。
	(4)「Ⅳ 区独自取組」についての分析 (区が「自律的運営」)

2 事業の実施内容(支援策(取組)の内容)

項目	事業者選定時等における企画提案(事業計画書)の概要(受託者等記入)
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容 ①地域カルテの作成(地域の現状と課題の見える化、地域情報の共有・伝承、地域と行政との連携の円滑化を意識して作成) ②地域の現状と課題の拾い上げのための調査 ③地域事業の視察による課題分析と助言や提案 ④自主財源獲得に向けた情報提供や申請等手続きの助言・指導 ⑤区役所地域担当職員及び地域担い手のファシリテーション向上 ⑥担い手の拡充と人材育成
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容 ①地域活動協議会の取り組みの情報発信(広報の多様なツールによる認知度の向上とネットワークの拡充) ②地域の現状と課題の拾い上げのための調査 ③地域事業の視察による課題分析と助言や提案 ④担い手の拡充と人材育成
	(3)「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容 ①組織運営にかかる事務の適正処理 ②開かれた組織や透明性の担保(日常会計事務、予算・決算事務、事業計画・報告書作成の支援) ③補助・委託事業に対する区役所の管理事務補助

区の評価及び意見について

1 地域活動協議会の状況についての分析(年度当初)

項目	受託者等の分析に対する評価及び意見(区記入)
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析 現在の状況については認識できている。
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」についての分析 現在の状況については認識できている。
	(3)「Ⅲ 組織運営」についての分析 現在の状況については認識できている。
	(4)「Ⅳ 区独自取組」についての分析 (区が「自律的運営」に向けた地域活動協議会の取組)

2 事業の実施内容(支援策(取組)の内容)

項目	提案内容に対する評価及び意見(区記入)
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)	(1)「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容 企画内容については区の意図を踏まえた提案となっている。 構成団体の特性やスキル・課題を把握し、きめ細やかな情報の提供をお願いしたい。
	(2)「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容 企画内容については区の意図を踏まえた提案となっている。 構成団体の特性やスキル・課題を把握し、きめ細やかな情報の提供をお願いしたい。
	(3)「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容 企画内容については区の意図を踏まえた提案となっている。 市全体の動向についても、受託者のノウハウや経験を活かしながら区の指示のもと対応してもらいたい。

企画提案(事業計画書)等について(受託者等の自己評価)

3 事業の実施体制等

項目	事業者選定時における企画提案(事業計画書)の概要(受託者等記入)
(1)自由提案による地域支援の提案内容 (企画提案書(事業計画書)等で受託者等が提案したもの)	
(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容	アドバイザー(1人)→従事場所に週5日常勤し、運営及び支援員の業務を統括。 地域支援員(3人)→従事場所に週3日~4日勤務し地域活動協議会の運営を支援。
(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容	事務責任者→業務を統括(本部) 講習会や地域事業企画において専門的な支援が必要な時の対応 →スーパーバイザー、専門アドバイザー(本部から派遣) ・欠員等が生じた場合の対応→アドバイザーが補充までの間対応
(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容	①地域カルテの作成 ②区の補助金要綱及び委託事業仕様書に従った事業報告や決算書、事業計画や予算書作成支援。 ③区役所関係部署との情報交換会。 ④区役所地域担当職員地域活動研修やファシリテーション研修。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

支援策(取組)名称	支援策(取組)の内容(受託者等記入)	重点的に取り組む理由(受託者等記入)
地域課題解決の取組	・地域課題の取り組みや役員・キーパーソンが交代した際に地域の資源、組織、現状や活動・会計などを見る化する地域カルテを作成し、安定かつ継続的な活動の取組を進める。 ・各地域の運営委員会や事業企画会議などでファシリテーション手法を用いた支援を必要とする地域において、重点的に支援を行う。	・地域が中長期的な課題に継続して取り組むために、後継者に対して地域カルテを引き継ぎ資料として使用することで事業を継続して実施することができる。また、地域課題に対する取り組みについては、長期的なスパンで支援していく必要があり、区地域担当職員の異動にも対応できる。 ・これまで、団体間のつながりを深め話し合いが活発になる会議運営に取り組んできたが、話し合いのプロセスで意見の把握、認識が共有されないまま終わり取組が進まない地域があるため。
担い手の拡充と人材育成	・若い世代を中心に、ご近所のつながりと災害時の助け合いの認識、地域活動への参加や運営側として活動したいかなど地域コミュニティアンケートを行い各地活協にフィードバックし、担い手の拡充を図る。 ・人材発掘については、他地域の事例を紹介するなど、担い手の拡充を支援する。	区は、幅広い年齢層が地域活動に参画でき、やる気と能力のある新たな担い手確保へのルールづくりを戦略としている。地域住民のつながりやきずなは重要であると感じている人は多いが実際に地域活動に参加している人は少ない。そのため、地域活動は団体役員など1人の人が多くの役を兼ねており、高齢化と後継者の不足が課題となっている。地域における人材発掘の取組は、年代別に可能な事から携わってもらおう等の取組を支援する事が必要。

区の評価及び意見について

3 事業の実施体制等

項目	提案内容に対する評価及び意見(区記入)
(1)自由提案による地域支援の提案内容 (企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)	
(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容	業務内容に対応できる体制となっている。
(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容	地域での事業実施やファシリテーション研修など支援が必要な際は専門アドバイザーも含め対応できる体制をとっており、体制は有効である。
(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容	業務内容に沿った提案内容となっている。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)(5つ以内)

支援策(取組)名称	支援策(取組)に対する評価及び意見(区記入)
地域課題解決の取組	区役所の指示のものと的確に事務を遂行されたい。 具体的には、地域カルテの作成においては、これまでのノウハウや経験を活かした情報の反映をすすめていくとともに、新たな地域課題解決につながるよう継続的に働きかけてもらいたい。
担い手の拡充と人材育成	区役所の指示のものと的確に事務を遂行されたい。 具体的には、地域コミュニティアンケートでは、結果の具体的活用方法について区役所と調整のうえ進めていただきたい。

企画提案(事業計画書)等について(受託者等の自己評価)

地域課題の発見と解決策の検討にかかる区役所職員による支援強化の取組	<ul style="list-style-type: none"> 区役所地域担当職員や支援団体が各地域の現状を把握することで必要な支援を検討するために「支援用地域カルテ」を作成する。 区役所職員対象にファシリテーション研修などを実施するほか、課題解決の検討の際に支援できる体制強化のための補助を行う。 	区では地域の課題の発見と解決策の検討にかかる支援ができる区地域担当職員の体制強化に努めている。 区地域担当職員も含め課題解決の支援を行っていく為には、地域が自主的に円滑・効果的に会議運営が行えるよう、地域事情に沿った支援を行うための必要な知識、活用できる会議運営スキルを身につけること事が必要のため。
-----------------------------------	--	---

区の評価及び意見について

地域課題の発見と解決策の検討にかかる区役所職員による支援強化の取組	区役所の指示のものと的確に事務を遂行してもらいたい。
-----------------------------------	----------------------------

5 現時点での支援の実施状況に対する自己評価(受託者等記入)

項目	自己評価(受託者等記入)
(1)現時点での支援の実施状況に対する自己評価	<p>【現時点での実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域カルテの作成→作成中 ②地域の現状と課題の拾い上げのための調査→実施中 ③地域事業の視察による課題分析と助言や提案→地域の実情にあわせた事例紹介の準備中 ④自主財源獲得に向けた情報提供や申請等手続きの助言・指導→相談対応中 ⑤区役所地域担当職員及び地域担い手のファシリテーション向上→必要な地域において、会議にファシリテーション手法の定着をめざした支援を実施中。 ⑥担い手の拡充と人材育成→事務をサポートする人材の設置と育成を支援 ⑦地域活動協議会の取り組みの情報発信→多様なツールで情報発信中。地域の広報紙作成を支援中。 ⑧適正な組織運営にかかるチェック→規約等に基づき齟齬がないかを確認。 ⑨会計の透明性の担保と事業計画等の公開→補助金等説明会開催、会計等事務の相談・支援を実施。 ⑩補助・委託事業に対する区役所の管理事務補助→会計事務支援・事業支援 <p>【今年度の目標の進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①目標:地域カルテの作成と地域課題の解決→(進捗状況)各個別事業の課題や担い手にかかる情報を作成。今年度中に作成を終える。 ②目標:担い手の発掘と人材育成→(進捗状況)担い手の発掘と活動推進のための地域コミュニティアンケートは各地域で調査中。 ③区地域担当職員との連携→(進捗状況)区役所地域担当職員対象のファシリテーション研修会を実施。今年度中に職員対象とした後期研修を開催予定。 <p>【実施状況(進捗状況)に対する受託者等の自己評価】</p> 地域の支援は、地域の実情にあわせ対応しており概ね順調に実施できている。 区役所地域担当職員補助業務に対しては、地域の実情により差があるが概ね順調に実施できている。
(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え	<ul style="list-style-type: none"> ①地域カルテが各地域の現状と課題の拾い上げのための基礎資料として活用されるよう、各地域担当職員と意見交換を行い、地域と区役所が協働による取組を進めるための必要な支援を行う。 ②地域コミュニティアンケートは、各地域ごとに集計し課題となっている「担い手の発掘活動」の参考資料として、フィードバックを行う。また、必要な地活協に対し運営委員会の議題にあげ、取り組みの支援をめざす。 ③春日出地域や島屋地域の安定した運営を継続するために人材発掘により、役員の役割やその他組織に必要な業務の分担を適材配置し、新たな人材による補助をプラスして育成の支援を行なう。

5 現時点での支援の実施状況

項目	評価及び意見(区記入)
(1)現時点での支援の実施状況(目標の進捗状況)	<p>【現時点での実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①②概ね順調に実施されている。今後もこれまで地域支援を実施してきた経験と専門性を活かして実施されたい。 ③地域事業の視察の頻度も問題ない。課題分析等も引き続き継続されたい。 ④自主財源の確保に向けて、コミュニティビジネスの手法等区役所と連携して引き続き支援されたい。 ⑤9月に実施された職員研修においてもプログラムの提案は適切であった。今後も、地域担当職員のスキル向上につながるよう進捗を図りながら適切に支援されたい。 ⑥地域の事務がスムーズに行えるよう、交替時に引継ぎの支援を行うなど新たな人材育成につながる適切な支援ができている。 ⑦広報紙の発行について、地域が単に発行する事が目的とならないよう、発行までのプロセスや、記事の内容が充実するよう引き続き支援されたい。 ⑧適切な運営支援ができている。 ⑨7月に開催した会計勉強会においても、資料の作成等適切にできている。引き続き区と連携して会計の適正化に向けた支援を依頼する。 ⑩区役所の要望に対して、適切に対応できている。 <p>【今年度の目標の進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①②③進捗について、今後も区の指示のものと的確に事務を遂行していただきたい。 <p>【実施状況(進捗状況)に対する受託者等の自己評価】</p> 自己評価は適切である。 地域活動協議会を構成する団体への支援のみならず、地域活動を担うテーマ型の活動他団体等の情報も収集し、広い視野を向け大きな公共の実現に向けて区と連携した支援を実施されたい。
(2)上記を受けた、年度後半の支援についての考え	<ul style="list-style-type: none"> ①地域課題の拾い上げに利用できるような地域カルテの作成について、地域担当職員とも意見交換をしながら進めてもらいたい。 ②地域コミュニティアンケートについても今後の課題に対応できるフィードバックを期待する。 ③各地域での現状に合わせた適切な支援を区担当職員とも共有しながら実施されたい。